

# 安全作業手順書【プラウ緊急時作業等】

作成日・ 改正日	2025/4/1 (前回改正：2024/4/1)	現場名	東名高速道路（豊田IC～春日井IC） 名古屋第二環状自動車道 （名古屋IC～飛島北IC,有松IC～上社JCT）
機器工具 ・車両	インパクトレンチ、溶接機（アーク・ガス）、電動切断工具（セイバーソー、マルチカッター）、素地調整工具（ベルトサンダー） <b>回転刃は使用禁止</b>	保護具	ヘルメット、安全チョッキ、安全くつ、保護メガネ、切創作業用手袋（レベル5）、溶接保護具一式（保護面、防塵マスク、革手袋、革前掛け、足カバー）

見積もり基準をした危険性の評価				
可能性(A)	重大性(B)	○ 軽微 (不休と休業3日以内)	△ 重大 (休業4日以上)	× 極めて重大 (死亡・障害が残る)
○ ほとんど起こらない (5年に1回程度)	○ ○ (極めて小さい)	○ △ (かなり小さい)	○ × (中程度)	
△ たまに起こる (1年に1回程度)	△ ○ (かなり小さい)	△ △ (中程度)	△ × (かなり大きい)	
× かなり起こる (6ヶ月に1回程度)	× ○ (中程度)	× △ (かなり大きい)	× × (極めて重大)	

危険性又は、有害性の評価と危険度の判定基準例			
危険性の見積もり	危険性の評価	危険度	判定
× ×	極めて重大	5	即座に対策が必要
× △、△ ×	かなり大きい	4	根本的対策が必要
× ○、△ △、○ ×	中程度	3	何らかの対策が必要
△ ○、○ △	かなり小さい	2	現時点では必要なし (様子を見る)
○ ○	極めて小さい	1	対策の必要なし

作業区分	作業手順・作業内容	急所	危険ポイント			リスクの見積り			安全対策（危険度2以下へ）			リスクの再見積り		
			（～なので～になる）			(A)	(B)	リスク	（私達はどうする）			(A)	(B)	リスク
準備工	作業確認	作業の打合せ(KY)を行なう 作業員の役割（運転手、助手）を決める 作業場所及び車線を確認する 交通規制状況を確認する（路肩移動規制） 料金所内の立ち入り禁止部分の確認 しらすだーの動作確認を行う	作業員全員で 免許証・免許区分の確認を運転手・助手の二人で行って 上下、kp等の情報を踏まえ、作業員全員が理解できるように 必ず当日の規制簿を確認して 踏板・ETCレーン等立入禁止部の確認 規制班と一緒に	手順を間違えて思わぬケガをする 免許区分の理解不足で、無免許運転をしてしまう / / / / /	△	×	4	全員で手順書、KYの内容を周知する 乗車時に必ず免許区分明示車両ステッカーを確認する / / / / /	○	○	1	○	○	2
	車両確認			/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	作業車両準備													
	作業車両点検													
本作業	出発準備													
	出発													
	車両移動													
	停止													
	逸走防止													
	準備作業	車両から降りる	周囲の状況に注意して	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	プラウ操作	プラウ降下時に架台をかます（番木等）	架台が安定しているか、プラウが架台にのっているか揺らし確認	架台が崩れてプラウが降下し、手足を挟む危険がある	△	△	3	プラウをおろす前に声かけをして、架台が安定しているか揺らし確認をする	○	○	1			
	ガス・アーク切断（鋼材が厚い場合）	資格証を確認する	無資格者が作業して	けがをする	△	△	3	資格証を確認し、有資格者が作業を行う	○	△	2			
		作業前に消火設備を整える	火花により延焼および油圧ホースの損傷	火花が周囲に飛散して火災が起きる	△	△	3	火花保護の防炎シートおよび消火器の配置をする	○	○	1			
		ガス切断・アーク切断を行う	アーク切断時は路面状況を確認	路面が濡れた状態で作業をして感電する 切断時の発光を直視し、眼炎を起こす	△	×	4	アーク切断時は路面が乾燥していることを確認する	○	△	2			
						△	△	3	適切な保護具を使用して作業をする	○	○	1		
	電動器具による切断（鋼材が薄い場合）	安定した姿勢の確保をする	無理な姿勢で作業をして	プラウ本体を損傷させる可能性がある 刃こぼれの破片等が目に刺さるまたは手を損傷する 使用工具の適正範囲外で使用することでけがをする	△	△	3	安定した姿勢（3点姿勢）で作業を行う	○	△	2			
					△	×	4	保護具の使用および無理な姿勢で工具を使用しない	○	△	2			
					△	△	3	使用工具が切断する鋼材の適正範囲内であることを確認する	○	△	2			
素地調整	安定した姿勢の確保をする	無理な姿勢で作業をして	周辺機器を損傷させる可能性がある	△	△	3	安定した姿勢（3点姿勢）で作業を行う	○	△	2				
各部材取付	ボルト・ナットを取付する	締め付け不良で	ボルト・ナットが落下する	△	△	3	取付終えたあとに本締め確認を全面所行う	○	△	2				
仕上げ	離脱前に場内の清掃を行う	隅々までよく確認して	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
現場離脱及び														
帰着														
駐車														
後処理	運転日報・車両使用日報を作成する	責任者への報告・確認も忘れずに	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
特記事項	1人作業 保護具	原則1人作業はしない。やむ終えず1人作業をする場合は現地にてKYを実施し、作業員同士目のつく範囲内で作業を行う。尚且つもしもの時の連絡体制を事前に構築しておく。 各作業にあった保護具の着用をする												



25.車両回送手順書に則る

25.車両回送手順書に則る

25.車両回送手順書に則る